

わがまち自慢⑤ 「竹原町のぶどう栽培」

竹原町では、7月〜9月になると、ぶどうの甘い香りが辺り一面に広がり、早朝から収穫作業が行われます。

竹原市をぶどうの一大産地にしたのは、故神田善太郎さんで、「キャンベル・アーリー」の芽変わり種を発見したことに始まります。この芽変わり種は、

通常のものより早熟、大粒の実と上品な甘さで、全国の注目を集め、竹原ぶどうを一躍有名にしました。最盛期の昭和初期には、栽培



▲昭和初期頃のキャンベル



▲神田善太郎の石碑



▲長寿キャンベル

面積が80町歩(約79万3,000㎡)にもなったといえます。往時の繁栄を今に伝える樹齢95年の老木「長寿キャンベル」。今でも豊潤な実を付けるその佇まいは、竹原ぶどうのシンボルです。

歴史があり順風満帆に見えるぶどう栽培も、これまで度重なる台風や高潮で壊滅的な被害を受け、存続の危機に見舞われました。その度に、関係者の努力で危機を乗り越えてきました。

そんな繁栄と苦勞の歴史あるぶどう栽培に携わる神田精果園の神田一秀さんと大果園の古田芳生さんは、「朝晩の気温差がある」と、色づきがよくなる。天候に左右されるね。」

「収穫時期以外にも、棚を作ったり、ビニールをかいたり大変。でも、食べた人から感謝の手紙が届くと苦勞が報われます。」と、悩みや喜びを打ち明けます。

ぶどうの収穫は、これからが本番。豊かな香りのキャンベルの収穫が体験できるイベントは、8月14日(水)に行われます。



かぐやパンダ通信

北海道へおでかけ



なんと、かぐやパンダは6月29日(土)・30日(日)に、札幌ドームにお出かけしました!こんなに遠くに行ったのは初めてです。日本ハムファイターズ 対 西武ライオンズ戦で開催された「アジアンフェスタ2013」は、アジアがテーマのイベントで、パンダ仲間が大集結!一緒にステージでPRしました。大役を務め、北海道から帰ってきたかぐやパンダ。出発前よりも、まるくなっていたのは、気のせいでしょうか。(北海道は美味しいものがいっぱいいます。)

ティータイム

お盆休みにはたくさんの方が故郷をめざします。竹原市にも故郷を想い、懐かしむ多くのみなさんが帰省されるでしょう。お子さんやお孫さんとのひとときを楽しみに、そして心待ちにされていると思います。「おかえりなさい」の心で温かく迎えたいものです。①

人のうごき

(住民基本台帳登録者数)

人口	28,480人
男	13,518人
女	14,962人
1世帯	12,889世帯
1年前	28,662人
5年前	30,187人
— 7月1日現在 —	

市政発展のための「ご意見などをお寄せください」

郵便 〒725-8666 (住所不要) 竹原市企画政策課

「市長への私の提案」係 FAX 22-0998

※市ホームページ「市長の部屋」から電子メールでも送信できます。ご意見等は「市長の部屋・掲示板」にて公表させていただきます。